

第2回 市民フリースピーチ制度  
 〈 協議結果一覧 〉

1	女性	<p>「多文化共生の次代にむけて、外国に繋がる子ども達の教育」について</p> <p>年齢相応の言語力が付いていない外国籍の子どもが多く、年齢が進むにつれ格差が広がり、不利益につながっている。外国に繋がる子ども達の支援として、</p> <p>①来日時、転入時に初期日本語指導教室の開設                  ②子育て支援的な乳幼児のプレスクールの開設                  ③高齢者や子どもも含め優しい日本語の普及の3点を要望する。</p> <p>(協議結果)3常任委員会でそれぞれ協議した結果、民生文教委員会が9月18日にNPO法人シェイクハンズと意見交換会を開催予定。</p>
2	男性	<p>犬山市の環境基本計画についての要望</p> <p>市民と行政が一体となって、住みよいまちづくりを進めるには、市民が環境基本計画をよく知らないといけない。5年ごとに見直している県や近隣市と違い、犬山市の環境基本計画は、策定後16年間も大きな見直しが見直しがされておらず、COP10以降、新しい法令や政策が計画に反映されていない。今後、市民の意見を十分とり入れ、早急に計画を見直すこととホームページでの公開を要望する。                  また、行政が主体となって、市民の手で自然環境を守る活動をやっていくべきではないか。</p> <p>(協議結果)久世議員対応、9月定例会で一般質問する予定。</p>
3	男性	<p>こころの「タイムカプセル」</p> <p>全市博物館構想はハードに留まるものでなく、ソフトウェアに移って未来に繋いでいくものでなければならない。祭に込められた思いは、「まつりごと」すなわち政治に他ならない。市民に桜基金、紅葉基金という呼びかけをして、市民一人ひとりの手で植樹するという提案をするなど、議員は市民の声を届け未来に向けて意識を持っていただきたい。</p> <p>(協議結果)久世議員対応、9月定例会で一般質問する予定。</p>
4	男性	<p>障がい者の災害時の支援について</p> <p>災害時、障がい者の中には自分で身を守れない人が多くいる。避難要支援者名簿に載るには、家族以外の支援者2人が必要で、名簿に載っている人は全体の4%150人で1年ごとの更新のため減っている現状にある。また、犬山市と障がい者をとりもつ民生委員にも、この150人以外は知らされていない。一人で避難できない人の名簿を作り、助ける計画、安全に速やかに避難できる体制を築いていただきたい。</p> <p>(協議結果)市に支援者2人の見直しを検討するよう7月23日に申し入れ書提出、7月25日付けで市より1人でも登録可能として運用するとの回答あり。別紙申し入れ書及び回答添付。</p>

5	男性	<p>犬山市民憲章の「教養を深め、文化のかおり高いまちをつくりましょう」の実現を目指して</p>
		<p>①犬山市が発信する、「いっぱいある本物の文化」とは、具体的には何か教えていただきたい。          ②「文化のかおり高いまちをつくりましょう」の実現を目指すうえで提案する。          ・犬山市町並みギャラリーの展示場所の移動（フロイデ2階→1階、市役所6階→1階）          ・投句箱の移動（犬山城券売機奥→犬山城登り口付近）          ・城下町界隈の空き家や店舗の一角を、市で借用し、美術、文芸、芸能、茶華道等の発表の場に活用してはどうか。          ③市民の文化活動やイベントへの、市議会の積極的な参加をお願いしたい。</p>
		<p>（協議結果）山田議員対応、山田議員、久世議員、ビアンキ議員、柴山議員同席のうえ、担当課に2回ヒアリングを実施。町並みギャラリーは、フロイデは改修のタイミングで1階への移動を検討していき、市役所は1階に案内看板を設置するなど、6階のスペースをそのまま活かしていく検討を進める。投句箱は文化協会と協議を進める。空き家や店舗の活用については、磯部邸との連携事業で期間限定の発表の場として活用できるよう検討を進める。</p>
6	男性	<p>高齢者の福祉向上について</p>
		<p>高齢者の福祉などについて5点を要望する。          ①85歳以上の高齢者のタクシー利用について、1回1台にタクシー券1枚から複数枚利用可能に変更。          ②70歳以上で自動車免許証自主返納者をタクシー券制度に入れる。          ③公共施設の駐車場を、土日祝及び休館日に市民各層に無料で提供。          ④小学校空き教室を、高齢者やボランティア団体への開放。          ⑤福祉会館を拠点に活動している団体について、改築後も減免など既得権を認める。</p>
		<p>（協議結果）民生文教委員会で協議した結果、老人クラブ連合会より市に提出された要望書（発言内容と同じ）、市からの回答を踏まえ、9月18日に老人クラブ連合会と意見交換会を開催予定。</p>



30犬市議第187号  
平成30年7月23日

犬山市長 山田 拓郎 様

犬山市議会議長  
ビアンキ アンソニー



### 第2回市民フリースピーチ制度の発言に基づく申し入れ書

平成30年6月4日に開催された第2回市民フリースピーチ制度における参加者の発言に関して、全員協議会にて発言の内容を協議した結果、下記の件について議会として申し入れを行うこととなりました。

つきましては、今後の市政運営に反映していただくよう、議員の総意として申し入れます。

#### 記

1. 「障がい者の災害時の支援について」の発言内容のうち、避難要支援者名簿に載るには、家族以外の支援者2人が必要という現状について、2人必要という条件の見直しを検討し、障がい者が避難しやすい支援体制の構築に努めてください。



30犬福第493号  
平成30年7月25日

犬山市議会議長  
ビアンキ アンソニー 様

犬山市長 山田 拓 郎



第2回市民フリースピーチ制度の発言に基づく申し入れについて（回答）

平成30年7月23日付け30犬市議第187号にて申し入れのありましたことについて、下記のとおり回答します。

記

1. 避難行動要支援者支援制度について、地域支援者は現行の2名を見直し、1名でも登録可能として運用することとします。

なお、登録や避難の支援については、町会長や民生委員とも連携して取り組みます。

